

Rotary Club of

国際ロータリー第2570地区
川越ロータリークラブ会報vol. **45**

会員数	103名	免除出席者	4名	正会員出席者	51名	出席者	55名	早退	1名	出席率	54.46%
-----	------	-------	----	--------	-----	-----	-----	----	----	-----	--------

プログラム

点鐘（12：30）／ロータリーソング（それこそロータリー・四つのテスト）／ビジター・お客様紹介／卓話講師紹介／会長の時間／幹事報告／ニコニコボックス／出席報告／卓話（クラブ協議会）／点鐘（13：30）
＜司会：島村拓史 SAA＞

会長の時間

2022-23年度 会長 石井成人

＜ビジター・お客様紹介＞

クラブ協議会 担当：2 委員長 + 5 部門委員長
＜会長挨拶＞



先週はお休みさせて頂き、片山副会長ありがとうございました。

次회가、私の会長としての、最後の例会となります。1年間会長を務めさせて頂いて、毎週話をさせて頂きました。そこで感じたことは様々な情報の収集や知識の集積、毎日毎日の勉強がいかに大事であるかを改めて実感した次第です。そして、今までにもっと本を読み、勉強すべきであったと強く、反省を致しております。後悔先に立たず！ですね。

西洋ではギリシャ、ローマ時代から「リベラルアーツ」という概念があります。その定義は、職業や専門分野に、直接むすび付かない教養、またそのための普通教育となっています。

簡単に言えば「人が持つ必要がある技術や芸術の基本」とみなされた自由な七つの科目で、具体的には、文法・修辞学・論理学・算術・幾何学・天文学・音楽です。これらを勉強することによって、自分を自由で多様に、そしていきいきと生きていくために必要とされる教養、素養とされており、世界で重要視されています。いずれにいたしましても、これからは様々な分野の勉強をして、引き出しの多さに加えて、「広く浅く」ではなく「ある程度広く、そして深い教養」を身に付ける必要があると実感しております。

これからは、基本的な能力を持ちつつ、歴史や文学や自然科学などのあらゆる分野にも、一定レベル以上の深い造詣を持っている人が、オールラウンドプレーヤーとして、活躍できる人だと思います。私達も良きリーダー、良きロータリアンと成るためにそこを目指しておりますので、出来るだけ近づけるように日々努力を続けなければならないと思っております。

本日の卓話の時間は、クラブ協議会として、各委員会の今年1年間の活動を振り返り、次年度の活動に活かしていただ

ければと思います。時間に限りがございますので、2委員長と、5部門の各部門委員長に発表していただきますが、各委員会の皆さまには、1年間本当にありがとうございました。

幹事報告

2022-23年度 幹事 野溝 守



- ・新会員について異議が出ておりませんので、入会手続きに進みます。なお、入会式は次年度になります。
- ・6/27 最終夜間家族例会、18 時点鐘、会場は 3F プリンスホール。
- ・配布物：会報
- ・東京世田谷 RC 60 周年記念誌が届いております。

・5/16 例会ビジター永松拓也（仙台宮城野 RC）様より礼状が届いております。

・旧町名石碑新設（喜多町）及び修繕2箇所については、本年度の公共イメージ委員会が7月下旬に実施いたします。

委員長報告

○会員増強・選考委員会 山田哲也委員長

6/17 に 2023-24 年度の第一回会員増強・DEI 推進チーム合同セミナーを開催しました。川越 RC からは、私と栗原会員が参加しました。来年度の目標も、会員増強で参加者全員一致しています。但し、「増」も重要ですが、「強」の部分が、コロナの影響もあり、各クラブ共に弱くなっている傾向にあります。川越 RC も現在、例会出席率は 50～60% ですので、今後は「強」も充実していきたいと考えています。

○親睦委員会 小林勇次郎委員長

●6 月のお祝い（敬称略）

〈誕生日〉石川恭也、山口滝太、中田庸司、須賀昭夫、住谷治男、上原孝之

〈配偶者誕生日〉馬場弘・恵子、井上實・圭子、今泉博・晴子、西川孝博・いづみ、川合善明・由美子、京野弘一・舞、荻原之彦・孝子、町田明美・良次

〈結婚記念日〉岩堀和久、相原茂吉、廣澤光昭、山口裕、栗原雄一、高山大輔、久保田誠、廣瀬哲也

次週卓話紹介

テナー：友清大樹様（2019-20 年度 2570 地区補助金奨学生）
ピアノ：森田義史様

ニコニコボックス（和田喜勝委員）

●2 委員長 + 5 部門委員長の皆様、本年度事業報告よろしく

お願い致します。（会長、幹事）

●大学ビッグバンドジャズフェスティバルを開催しております AMF 実行委員会ですが、先日 4 月 20 日に解散お別れ会を行いました。当日欠席の皆様には、AMF ジャーナル最終号を投函しました。ご査収下さい。（片山、西澤、山田（哲）、鈴木（壮））

●二人目の孫が生まれました。また女の子です。嬉しいです！！（八木）

●早退 1 名（敬称略） 合計 11,000 円

卓話（クラブ協議会）

○戦略計画委員会 吉澤徳安委員長



既に 10 月のクラブ協議会で半年間の活動報告はさせていただいておりますが、新しい会員も増えていきますので、戦略計画とはどういうものなのかを最初に説明します。通常の委員会は単年度で運営されるのですが、この委員会だけは、3年から5年の長期的なスパンでクラブの姿を考える委員会です。まず、RI（国際ロータリー）によりますと、戦略計画と言うのは、ロータリーがこれからもダイナミックな組織であり続け、世界中の地域社会に貢献していくための将来への指針となるものと定義されています。RI 自身も戦略計画委員会を持っており、歴史を積んできています。

○研修委員会 坂口孝委員長



研修委員会では、まず、3 年未満の研修を実施しました。また、次年度は地区役員にかなりの人が出ますので、研修委員長と言うよりは、地区に出ている先輩として、皆さまにお話をさせて頂きました。先ほど、吉澤戦略計画委員長からお話がありました通り、研修の形が変わります。変わろうとしていると言った方が正確なのかも知れません。

吉澤さんからいただいた資料によると、クラブ研修ファシリテーター、あるいは学習ファシリテーターという名前に変わる、研修は、これまでの詰込み型から、対話型になると記載されていますので、具体的な内容、流れについて、先般、RI の日本事務局にお問い合わせをしたところ、日本事務局自体が現在、混乱してしまて、具体的内容に関しては、RI からの返事待ちという状態でした。

○クラブ管理部門 栗原雄一委員長



クラブ管理部門では、会員増強・選考委員会、公共イメージ委員会、会報委員会の 3 つの委員会を担当いたしました。まず、会員増強に関しましては、新年度スタート時の 97 名から、現在 103 名と言うことで、6 名純増いたしました。今月末に退会者が出ておりますので、来月からは 100 名のスタートとなります。先ほど幹事からのお話の通り、6 月の理事会承認、7 月入会の方が 1 名、予定ですが 7 月の理事会に 2 名の方の入会申込があると聞いています。この方々を入れると 103 名になる予定です。

公共イメージ委員会では、1 年間を通して「ロータリーの友」の要約版が小城会員のもと作られまして、これにより皆さまも「ロータリーの友」に親しみ易くなったのではないかと思います。来年度も要約版が継続するかどうかは分かりませんが、「ロータリーの友」は、大切な機関誌ですので、皆さまご一読いただき、知識を埋めていただければと思います。また、ホームページの変更や、Facebook のよる例会の様子や、過去の記念事業などをアップさせていただきました。先ほど野溝幹事からのお話の通り、旧町名石碑新設（喜多町）及び修繕 2 箇所については、今年度の公共イメージ委員会の事業として、7 月、8 月に実施したいと思っております。

最後に会報委員会ですが、毎例会の度に、木曜日にゲラ、金曜日に事務局での原稿チェック、月曜日に印刷、火曜日の例会に間に合わせるべくやってまいりましたが、大変時間のかかる作業です。今年度は、誰でも出来るように、より良い方法を検討してまいりましたが、来年度も引き続き佐藤委員長と一緒にフォーマットを見直し、委員の負担が軽減出来る方法を検討してまいります。

○クラブ運営部門 住谷治男委員長



クラブ運営部門は、出席委員会、親睦委員会、ニコニコボックス委員会の 3 つの委員会を担当いたしました。

まず、出席委員会に関しましては、1 年間の最高出席率は、3/14 の 71.29%、最低出席率は、8/9 の 53.1% でした。（もしかすると、先週が最低かも知れません。）平均出席率は、62.02% でした。来年度は、コロナも落ち着いて、皆さんで、もっと出席率を上げていただければと思います。1 年間の皆出席者は、現段階で 32 名。皆出席者には、7 月に記念品をお配りいたします。

○奉仕プロジェクト部門 齋藤智委員長



奉仕プロジェクト部門は、職業・社会奉仕委員会、国際奉仕委員会から成ります。まず、職業・社会奉仕委員会では、8/8 に霞ヶ関カンツリー倶楽部にて小学生スナッグゴルフ大会をサポートしました。暑い中、皆さまには

頑張ってください、ありがとうございました。次に、コロナ禍で暫く中断しておりました「武蔵寺子屋事業」を再開しました。地区補助金を活用して、調理器具等を買うことが出来、8/27 に開催しました夏合宿等で活用しました。地区補助金は、次年度も活かしていきけるよう申請をしています。11/27 に開催された小江戸川越ハーフマラソンでは、エンドポリオの啓蒙活動と共に、希望の風、ウクライナへの募金活動を行いました。星野学園のインターアクトクラブのメンバー 20 人ぐらいの方に参加いただき、学生たちの一生懸命な活動により、多くの募金に繋がりました。

○青少年奉仕部門 高橋哲彦委員長



青少年奉仕部門は、ローターアクト委員会、インターアクト委員会の 2 つの委員会を担当しました。まずは、ローターアクト委員会ですが、これまでコロナで活動が中断していましたが、

松山委員長と共に、何とか動く一年にしたいと言うところから始めました。川越 RC のローターアクトクラブは、東京国際大学の中にありまして、今年度は、「リベラ」という登校拒否の子どもたちの支援をサポートする取り組みを行いました。具体的には、伝統和芸鑑賞会のボランティアを中心に、一年間進めました。コロナ禍で、全く動かなかった中、少しずつ動き始め、次年度に繋がる一年だったと思います。

○財団米山部門 京野弘一委員長



財団米山部門は、ロータリー財団委員会、ロータリー米山記念奨学会委員会の 2 つの委員会を担当しています。まず、ロータリー財団委員会ですが、4 月には 2 回目の卓話（米原会員、金剛会員）を行いました。ポール・

ハリス・フェロー取得推進と言うことで、馬場常正会員、米原会員、長谷川会員が取得されました。「毎年あなたも 100 ドルを」運動推進と言うことで、年額で、クラブの寄付が 66 万 6,400 円、ポリオプラス 39 万 9,840 円、恒久基金 39 万 9,840 円、個人寄付の年次基金が 27 名で 64 万 8,600 円、ポリオが 9 名で 28 万 3,000 円でした。

円安で会員の皆さまのご負担が多くなってしまいました。が、気持ちよくご協力いただき、ありがとうございました。